

大会のプログラム。あまりにごちゃごちゃ書いてあると読む気がしないのだが、運営者の立場になると入れたい情報がてんこ盛り。

公式サイトの作成

大会の開催の広報は、なんといっても大会要項とホームページの出来に左右されます。そして、いかにそれを参加対象者に配布するか。

横田が広報担当なのだが、どうもデザインに不安が。そんなとき宮城島さんが、JOAの立場としてサイトと要項を統一イメージにして作成しても良いという申し出があり、お願いすることにしました。彼のデザインは、北海道全日本大会でも取り入れられて好評だったため、願ってもない申し出でした。

上林さんと分担して取った大会の写真に関しては、競技中の写真が欲しいという要望もあったため、サイトにできる限りすべての写真を載せて、利用できるようにしてあります。

Yahoo!の活用

みんなの意見を集約するのに、最近では会議を行うより、メーリングリストを通じてのメールでの意見交換が一般化しています。そして、メールでは伝えられない文書や絵図などを交換や伝達する手段として、Yahoo!のブリーフケースなどを活用することも、多くなっています。顔の見える会議では、ポイントを絞り込んだ話をするために、事前にメーリングリストやブリーフケースを使った情報交換は、今回もかなり有効に活用できました。ただ難点は、飛び交う情報や意見が多かったために、役員の中には他の情報の中に埋もれてしまった人もいたようでした。

渉外部門の大変さ

大会開催に最重要になるのは、色々な渉外事項。どうしても役所や地元関係となると平日仕事を抱えているスタッフばかりなので、時間に融通の利く退職世代の方をお願いすることが多くなります。幸い、府協会会長の岩井氏が精力的に動き回ってくれたり、地図調査に入った方々が、調査途中で会った地元の方などに声をかけてくれたり

して、なんとか話をつけることができました。

しかし、残念な点が2点。毎回、都道府県知事に名誉会長をお願いして、プログラムの冒頭あいさつをいただいています。あの話題の橋下知事で選挙戦前後の慌ただしさもあり、今回はいただけなかった。

もう一点は、駐車場として案内していた場所からお叱りをいただいたこと。有料駐車場として営業しているものだからと、全く連絡もせずプログラムに「駐車場として利用可能」と載せていて、非常識だと言われてしまった。当然のお怒りで、こちらとしては平身低頭だった。

また韓国から視察にこられていた方のことで、警察から警護の有無についても問い合わせがありました。こういうことも、連絡しておかなければならなかったと反省しています。

過去のプログラムを参考に

プログラムについては、やはり原型は、過去の大会のもの。矢板や北海道で行われた全日本大会のプログラムをもとに、どのような情報を載せるべきか列記して、その内容について大阪大会に合うように修正。また、新規約に則って表現が適切かどうか、修正するたびに、できるかぎり多くのパトリダーに目を通してもらい指摘してもらいました。

略図は自作

会場までの地図、わかったでしょうか。はじめは、インターネット上の地図を利用して作成するつもりだったのですが、著作権を調べてみると、1地図につき、10万円必要と言われてしまいました。とても地図にそれほどの費用をかけられないので、地図を見ながら、OCADで作図しました。

バスの時刻や停留所

バスの時刻などを載せておく方がいいということで、色々調べて載せましたが、系統などが多数あり、見のがして指摘されることも多々ありました。

また、帰りのバス停の位置が表示されていなかったため、帰られる方がとまどっていたと、大会終了後にお聞きしました。これは、大きな反省点です。

大会中止情報の流し方

万が一、大会が中止になるような事態になったときの情報の流し方も、工夫してみました。今回は、プリペイド携帯ひとつを専用電話として用意。これは、実際には会場位置確認の電話が1件入っただけでした。また、サイトでの開催情報を流し、携帯からでも見られるようにしました。

Eカードの使い方について

プログラムには、「Eカード使用時の注意事項」は載せたのですが、根本的な「Eカードの使い方」については、明示していませんでした。最近の大会では、電子チェックがメインになってはいますが、まだまだ使ったことがない方も多くいて、「Eカードの説明」が初心者説明と同様に必要だったと思います。

自分のEカードを持っている人には、Eカード番号を確認できるように、プログラムにカード番号を載せました。

また根本的に「印は、スタートフラッグの位置」ということを知らない方がいて、「スタート地点=印」と思っていて参加されている方もいました。プログラムには記載していたのですが、このあたりの説明も特に年配の方には必要だと感じました。

ホイッスルの携行

安全上理由で、今回は強く「推奨」しました。この文面に関しては、愛場さんが推敲を重ねて、表現して頂きました。使わないことにこしたことはないのですがね。

当日の雨が残念でしたが、非常に密度の濃かった大会だったと思います。僕自身も、今後はこの大会運営で学んだことを生かしていきたいと思います。
(横田 実)